

科目名称	基礎看護実習Ⅰ	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期		30
担当教員	川崎由希 村上あゆみ 上野理江 原田和恵	授業に関わる実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】概要

基礎看護学実習Ⅰは各看護実習に先立って行われる初めての实習であり、看護という専門職を目指す学生にとっても「看護」を体験する初めての实習である。臨床の場で看護の基本である人間、健康、看護の対象、看護の役割・機能について学ぶ。

【2】学習目標

1. 医療施設の構造と機能を知る。
2. 対象とコミュニケーションをはかることができる。
3. 観察をとおして対象およびその療養生活を知る。
4. 看護場面をとおして、看護の役割や看護活動について理解できる。
5. 看護職に必要な姿勢、態度について理解できる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

Ⅰ. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

Ⅱ. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

Ⅲ. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

Ⅳ. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内 容	授業形態
実習前	基礎看護実習Ⅰの実習概要についてオリエンテーションを受ける。 実習に必要な事前学習を行う。	学内オリエンテーション
実習1日目	病院・病棟オリエンテーションを受ける。 受け持ち患者を中心にコミュニケーションをはかる。	病院実習
実習2日目	受け持ち患者を中心にコミュニケーションをはかる。 病棟・病室の環境について観察する。	病院実習
実習3日目	看護師の看護援助を見学し、看護の役割や看護活動について学ぶ。	振り返り
実習4日目	実習1日～3日目の内容を継続し、各自で学習内容を整理し、学んだことや課題を明確にする。	まとめ

【5】評価方法

基礎看護実習Ⅰの到達度基準に沿って、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】教科書

千葉 京子 他著「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」第7版 メヂカルフレンド社 2025年

【7】参考書

藤野彰子他 編著「看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年
他、随時指示します。

【8】受講生へのメッセージ

体調管理に気を付け、積極的に学習しましょう。